

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	札幌科学技術専門学校
設置者名	学校法人 総合技術学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	建築技術学科	夜・通信	1258	160	
	自然環境学科	夜・通信	952	160	
	バイオテクノロジー学科	夜・通信	1292	160	
	海洋生物学科	夜・通信	510	160	
	電気技術学科	夜・通信	748	160	
	情報システム学科	夜・通信	1938	160	
	自動車工学科 二級自動車整備士コース	夜・通信	1732	160	
	自動車工学科 自動二輪車コース	夜・通信	1470	135	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

https://s-kagisen.ac.jp/disclosure/work_experience.pdf

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	札幌科学技術専門学校
設置者名	学校法人 総合技術学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://s-kagisen.ac.jp/disclosure/executive.pdf>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	弁護士	2017.4.1～ 2020.3.31	コンプライアンス 担当
非常勤	税理士事務所勤務	2017.4.1～ 2020.3.31	財務担当
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	札幌科学技術専門学校
設置者名	学校法人 総合技術学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画においては毎年度学科ごとにそれぞれの業界の変化を見据えて次年度カリキュラム作成のための会議を開き、改変している。成績評価の方法や基準に関しては教務規定にて決められており、それを元に科目ごとの評価基準を作成して授業計画(シラバス)に記載している。このシラバスについて年度初めのオリエンテーションにて学生に説明している。</p>	
授業計画書の公表方法	https://s-kagisen.ac.jp/disclosure/syllabus.pdf
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>単位認定に当たっては教務規定にて取り決めがあり、出席状況やレポート、試験などを行いそれぞれの基準をクリアした学生に認定している。これらの規定について、「学生生活のしおり」にも記載し、入学後のオリエンテーションにて配布・説明をしている。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 教務規定にて成績を4段階(優・良・可・不可)と定めており、その判定基準も明確化し、教務便覧に記載している。また、この指標について学生配布用の「学生生活のしおり」にも記載し、オリエンテーション等で周知している。成績の順位については各成績を0点～4点のGPAを用いて行っている。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>https://s-kagisen.ac.jp/disclosure/gpa.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 教務規定に厳しく定められており教務便覧(教育者向け)および「学生生活のしおり」(学生配布用)に記載し、入学式をはじめオリエンテーションにて説明・周知している。また、これを厳格に運用するため様々な資料を基に卒業認定会議(校長・教務部長・各学科長・各担任)を行って卒業を認定している。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>https://s-kagisen.ac.jp/disclosure/authorization.pdf</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	札幌科学技術専門学校
設置者名	学校法人 総合技術学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://s-kagisen.ac.jp/disclosure/H30 貸借対照表.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://s-kagisen.ac.jp/disclosure/H30 収支計算書.pdf
財産目録	https://s-kagisen.ac.jp/disclosure/H30 財産目録.pdf
事業報告書	https://s-kagisen.ac.jp/disclosure/H30 事業報告書.pdf
監事による監査報告（書）	https://s-kagisen.ac.jp/disclosure/監査報告 2018.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	建築技術学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2244 単位時間／単位	1207 単位時間	136 単位時間	901 単位時間	単位時間	単位時間
			2244 単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		29人	人	1人	10人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 科目ごとの授業計画（シラバス）に記載し、年度初めのオリエンテーションにて学生に説明している。
成績評価の基準・方法
（概要） 試験・レポート・出席状況の併用による。詳しくは各シラバス参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 各学年毎のすべての単位を取得していること。また、学納金が納入済みであること。
学修支援等
（概要） 担任制による支援および、資格試験前には希望者に対する放課後の勉強会開催等を実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
14人 (100%)	人 (%)	10人 (71.4%)	4人 (28.6%)
（主な就職、業界等） ハウスメーカー、建築設計事務所、測量、建築設備業、家具・建具製作			
（就職指導内容） キャリアカウンセリング、履歴書作成指導、面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 二級建築士（受験資格）、二級建築施工管理士、二級管工事施工管理技士、 CAD利用技術者			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制および学生支援センターによるカウンセリングおよび保護者との連携。また、 中退者の就職に関して就職支援室がサポートしている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	自然環境学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1972 単位時間/単位	1248 単位時間	192 単位時間	532 単位時間		
			1972 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		20人	1人	2人	11人	13人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 科目ごとの授業計画（シラバス）に記載し、年度初めのオリエンテーションにて学生に説明している。
成績評価の基準・方法
（概要） 試験・レポート・出席状況の併用による。詳しくは各シラバス参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 各学年毎のすべての単位を取得していること。また、学納金が納入済みであること。
学修支援等
（概要） 担任制による支援および、資格試験前の希望者に対する放課後の勉強会開催等を実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
7人 (100%)	0人 (%)	7人 (100%)	人 (%)
（主な就職、業界等） 自然環境調査・環境建設コンサルタント、造園、農業、環境教育			
（就職指導内容） キャリアカウンセリング、履歴書作成指導、面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 生物分類技能検定、技術士補（環境）、公害防止管理者、環境測定分析士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制および学生支援センターによるカウンセリングおよび保護者との連携。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士	
工業		専門課程	バイオテクノロジー学科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験
2年	昼	1870 単位時間/単位	1044 単位時間	56 単位時間	1144 単位時間	
			2244 単位時間			
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40人		14人	人	1人	10人	11人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 科目ごとの授業計画（シラバス）に記載し、年度初めのオリエンテーションにて学生に説明している。
成績評価の基準・方法
（概要） 試験・レポート・出席状況の併用による。詳しくは各シラバス参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 各学年毎のすべての単位を取得していること。また、学納金が納入済みであること。
学修支援等
（概要） 担任制による支援および、資格試験前の希望者に対する放課後の勉強会開催等を実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
15人 (100%)	0人 (%)	13人 (86.7%)	2人 (13.3%)
（主な就職、業界等） 食品製造・品質管理、薬品・医薬品製・品質検査、臨床検査			
（就職指導内容） キャリアカウンセリング、履歴書作成指導、面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 中級バイオ技術者、毒物劇物取扱責任者、フードサイエンティスト			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
23人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制および学生支援センターによるカウンセリングおよび保護者との連携。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	海洋生物学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1836 単位時間/単位	1316 単位時間	22 単位時間	498 単位時間		
			1836 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		45人	1人	2人	6人	8人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 科目ごとの授業計画（シラバス）に記載し、年度初めのオリエンテーションにて学生に説明している。	
成績評価の基準・方法	
（概要） 試験・レポート・出席状況の併用による。詳しくは各シラバス参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 各学年毎のすべての単位を取得していること。また、学納金が納入済みであること。	
学修支援等	
（概要） 担任制による支援および、資格試験前の希望者に対する放課後の勉強会開催等を実施	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
24人 (100%)	人 (%)	23人 (95.8%)	1人 (4.2%)
（主な就職、業界等） 水産増養殖、地方自治体（水産職）、水産卸売、海洋開発・調査分析、水族館、観賞魚販売			
（就職指導内容） キャリアカウンセリング、履歴書作成指導、面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 一級小型船舶操縦士、潜水士、ダイビングライセンス、生物分類技能検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
53人	1人	1.9%
（中途退学の主な理由） 学習意欲低下のため		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制および学生支援センターによるカウンセリングおよび保護者との連携。また、中退者の就職に関して就職支援室がサポートしている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	電気技術学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2040 単位時間/単位	1105 単位時間	85 単位時間	850 単位時間		
			2040 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		43人	1人	2人	6人	8人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 科目ごとの授業計画（シラバス）に記載し、年度初めのオリエンテーションにて学生に説明している。
成績評価の基準・方法
（概要） 試験・レポート・出席状況の併用による。詳しくは各シラバス参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 各学年毎のすべての単位を取得していること。また、学納金が納入済みであること。
学修支援等
（概要） 担任制による支援および、資格試験前の希望者に対する放課後の勉強会開催等を実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
25人 (100%)	人 (%)	25人 (100%)	人 (%)
（主な就職、業界等） 電力・発電、電気工事・施工、通信工事、電気製品修理・販売、運輸・交通			
（就職指導内容） キャリアカウンセリング、履歴書作成指導、面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 第一種電気工事士、第二種電気工事士、第三種電気主任技術者、2級電気工事施工管理技士			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
47人	4人	8.5%
（中途退学の主な理由） 学力不足による学習意欲の低下		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制および学生支援センターによるカウンセリングおよび保護者との連携。また、中退者の就職に関して就職支援室がサポートしている。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		専門課程	情報システム学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1904 単位時間/単位	903 単位時間	271 単位時間	1104 単位時間		
			2278 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		39人	人	2人	5人	7人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 科目ごとの授業計画（シラバス）に記載し、年度初めのオリエンテーションにて学生に説明している。
成績評価の基準・方法
（概要） 試験・レポート・出席状況の併用による。詳しくは各シラバス参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 各学年毎のすべての単位を取得していること。また、学納金が納入済みであること。
学修支援等
（概要） 担任制による支援および、資格試験前の希望者に対する放課後の勉強会開催等を実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19人 (100%)	人 (%)	15人 (78.9%)	4人 (21.1%)
（主な就職、業界等） ソフトウェア・システム開発、システム運用、情報通信業、パソコン販売			
（就職指導内容） キャリアカウンセリング、履歴書作成指導、面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 応用情報技術者、基本情報技術者、情報セキュリティマネジメント、ITパスポート			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制および学生支援センターによるカウンセリングおよび保護者との連携。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	専門課程	自動車工学科 二級自動車整備士コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1994 単位時間/単位	714 単位時間	単位時間	1280 単位時間	単位時間	単位時間
			1994 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
200人	94人	1人	(夜間兼務) 9人	2人	11人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 科目ごとの授業計画 (シラバス) に記載し、年度初めのオリエンテーションにて学生に説明している。
成績評価の基準・方法
(概要) 試験・レポート・出席状況の併用による。詳しくは各シラバス参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 各学年毎のすべての単位を取得していること。また、学納金が納入済みであること。
学修支援等
(概要) 担任制による支援および、資格試験前の希望者に対する放課後の勉強会開催等を実施

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
45人 (100%)	人 (%)	43人 (93.3%)	2人 (6.7%)
(主な就職、業界等) 自動車販売ディーラー、自動車メーカー、自動車設計・開発			
(就職指導内容) キャリアカウンセリング、履歴書作成指導、面接指導			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 二級ガソリン自動車整備士、二級ジーゼル自動車整備士、中古車査定士、アーク溶接技能特別教育、ガス溶接技能講習			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
99人	3人	3.0%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制および学生支援センターによるカウンセリングおよび保護者との連携。また、中退者の就職に関して就職支援室がサポートしている。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	専門課程	自動車工学科 自動二輪車コース	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1994 単位時間/単位	714 単位時間		1280 単位時間		
			1994 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
40人	2人	人	3人	人	3人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 科目ごとの授業計画 (シラバス) に記載し、年度初めのオリエンテーションにて学生に説明している。
成績評価の基準・方法
(概要) 試験・レポート・出席状況の併用による。詳しくは各シラバス参照
卒業・進級の認定基準
(概要) 各学年毎のすべての単位を取得していること。また、学納金が納入済みであること。
学修支援等
(概要) 担任制による支援および、資格試験前の希望者に対する放課後の勉強会開催等を実施

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
5人 (100%)	4人 (80%)	1人 (20%)	人 (%)
(主な就職、業界等) 自動二輪車販売ディーラー、自動二輪車開発・設計、自動車整備業			
(就職指導内容) キャリアカウンセリング、履歴書作成指導、面接指導			
(主な学修成果 (資格・検定等)) 二級二輪自動車整備士、二級ガソリン自動車整備士、ガス溶接技能講習、アーク溶接特別教育			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制および学生支援センターによるカウンセリングおよび保護者との連携。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
工業	専門課程	自動車工学科 二級自動車整備士コース（夜）	○				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	夜	1960 単位時間／単位	680 単位時間	単位時間	1280 単位時間	単位時間	単位時間
			1960 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	26人	0人	(昼間兼務) 9人	0人	9人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 科目ごとの授業計画（シラバス）に記載し、年度初めのオリエンテーションにて学生に説明している。
成績評価の基準・方法
（概要） 試験・レポート・出席状況の併用による。詳しくは各シラバス参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 各学年毎のすべての単位を取得していること。また、学納金が納入済みであること。
学修支援等
（概要） 担任制による支援および、資格試験前の希望者に対する放課後の勉強会開催等を実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)	0人 (%)
（主な就職、業界等） 自動車販売ディーラー、自動車メーカー、自動車設計・開発			
（就職指導内容） キャリアカウンセリング、履歴書作成指導、面接指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 二級ガソリン自動車整備士、二級ジーゼル自動車整備士、中古車査定士、アーク溶接技能特別教育、ガス溶接技能講習			
（備考）（任意記載事項） 平成29年度開設のため、令和元年度が完成年度となるため平成30年度は卒業生なし			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
19人	1人	5.3%
（中途退学の主な理由） 勤務していた自動車ディーラーの退職に伴う怠学による学習意欲低下		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制および学生支援センターによるカウンセリングおよび保護者との連携。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
建築技術学科	150,000 円	420,000 円	477,000 円	施設維持費・設備維持費・実験実習費
自然環境学科	150,000 円	420,000 円	477,000 円	施設維持費・設備維持費・実験実習費
バイオテクノロジー学科	150,000 円	420,000 円	477,000 円	施設維持費・設備維持費・実験実習費
海洋生物学科	150,000 円	420,000 円	477,000 円	施設維持費・設備維持費・実験実習費
電気技術学科	150,000 円	420,000 円	477,000 円	施設維持費・設備維持費・実験実習費
情報システム学科	150,000 円	420,000 円	477,000 円	施設維持費・設備維持費・実験実習費
自動車工学科 (二級自動車整備士コース)	150,000 円	460,000 円	617,000 円	施設維持費・設備維持費・実験実習費
自動車工学科 (自動二輪車コース)	150,000 円	420,000 円	567,000 円	施設維持費・設備維持費・実験実習費
自動車工学科 (二級自動車整備士コース 夜間)	150,000 円	300,000 円	387,000 円	施設維持費・設備維持費・実験実習費
修学支援 (任意記載事項)				
授業料減免制度 (特待生制度、AO入試制度、特別奨学生制度)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://s-kagisen.ac.jp/disclosure/H30self-estimation.pdf		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
自己評価の結果を踏まえ、ポイントの低い項目について自らが策定した改善策について、具体的な取り組みが適切であるか・達成状況はどうか (P D C A) などについて助言および総合的に評価していただくことを基本とする。これを実現するために委員会実施時 (令和元年度は2回を予定) には学校側からもその都度適任者を追加で選任する。令和元年度は特にポイントの低かった「社会貢献・地域貢献」に重点を置き社会ニーズに対応した改善策を実施する。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
北海道札幌あすかぜ高等学校 学校長	2019.4.1 ~ 2021.3.31	中学・高校関係者
北第百通信電気株式会社 代表取締役社長	2019.4.1 ~ 2021.3.31	企業・業界団体関係者
札幌市中央区西17丁目町内会 防犯部長	2019.4.1 ~ 2021.3.31	地域住民 (町内会)
専門課程 第4期卒業生	2019.4.1 ~ 2021.3.31	卒業生
専門課程 電気技術学科 保護者	2019.4.1 ~ 2021.3.31	在校生保護者 (PTA)
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 2020年度から評価を確実に実施・公表する		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.s-kagisen.ac.jp
--